

教科	国語	単位数	1単位	学科・学年・コース・組	普通科	3年
使用教科書	「国語表現」(教育出版)					
副教材等	「国語表現 演習ノート」(教育出版)、国語辞典					

1 学習の到達目標

<p>① 言葉で適切に表現する力を育てる。 ② 情報を収集、整理し、文章としてまとめる力を養う。 ③ 論理的に意見を述べることや、相手を理解しつつ話し合う力を養う。 ④ 思考力を伸ばし、言語感覚を磨く。</p>
--

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。)

月	単元名	教材 ※は備考	学習の領域	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	言語活動	主な評価方法
4	「身近なものを題材にして文章を書いてみよう」	①「わたし」 ②他己紹介ワークシート	話す 聞く 読む 書く	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書くことに親しむ。 対話や文章化、発表をとおして、自己と他者を見つめる基盤をつくる 他己紹介については、相互評価をおこなう 	A(ア) A(イ) B(ア)	<ul style="list-style-type: none"> 取組の様子 提出物 評価表
	「言葉に変える」	演習ノート ①速く正確に書き写す ②メモを取る・メモで伝える ③絵を言葉にする	読む 書く	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の中でも最も基礎的な「視写」「聴写」を行い、自己の表現能力の実態を把握する。 情報を取捨選択し、整理・記録するための基本的な技術を身につける。 絵や地図をことばに変える作業をとおして、ことばによる表現の可能性と限界を理解し、工夫の必要性を知る。 	B(ア) B(イ)	<ul style="list-style-type: none"> 取組の様子 提出物
5	「意見文を書く」	①意見文導入プリント ②前年度の弁論大会優秀作品プリント ③メモ、構成表ワークシート	読む 書く	<ul style="list-style-type: none"> 意見文の特徴を知る 前年度の優秀作品を読み合い、感想を述べ合うとともに、文章構成のあり方を確認する。 身の回りのことからテーマをしばり、材料を集めて取捨選択するとともに、論の展開を考えるメモをつくることができる。 意見文を書くことで、自己と他者、とりまく環境との関係を文章化することができるとともに、考えを深めることができる 相互評価をとおして、学び合うことができる。 	B(ア) B(イ) B(ウ) C(ア)	<ul style="list-style-type: none"> 取組の様子 提出物 意見文 評価表
6	「小論文」	①小論文の書き方	読む 書く	<ul style="list-style-type: none"> 作文と小論文の違いを学ぶ。 構成や文章の書き方について考える。 題材や説得力ある理由を考える。 	B(ア)	<ul style="list-style-type: none"> 取組の様子 提出物 評価表
7	「漢字と語彙」	①漢字の仕組みを探る ②語義を探る・語彙を広げる ③文字による表現	知識 理解	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や語彙の学習をとおし、これらを習得していく習慣を形成するとともに、日本語の特徴に関心を持ち、解釈や表現に生かそうとする意識を育てる。 漢字の構造や部分の働きを理解し、漢字の読みや意味を考察する。 単語の意味を調べ、その変遷をたどることで、古代の人々のものとのらえ方にふれ、日本語に興味を持つとともに、自らの語彙の拡充を図る。 文字による表現の特徴を理解し、効果的な表記の方法を考えていく。 	B(イ)	<ul style="list-style-type: none"> 取組の様子 提出物
	「人とつながる言葉」	①挨拶と人間関係 ②待遇表現—敬語によるコミュニケーション ③励ます言葉受け入れる言葉	知識 理解 話す 聞く	<ul style="list-style-type: none"> ことばの性質やことばと人間とのかかわりについて理解し、言語生活や具体的な表現活動に役立て、人間関係を維持・構築していこうとする認識を養う。 挨拶が人間関係や社会生活にどのような影響を及ぼしているかを理解し、自らの言語生活を検証してみる。 敬語が人間関係の調整や場の状況にどのようなはたらいているか考え、自己表現としての敬語の使用方法を理解する。 ことばの可能性と危険性についてさまざまな角度から理解するとともに、「聴く」ことの働きについて考察する。 	B(イ)	<ul style="list-style-type: none"> 取組の様子 レポート

10	「話し合いの方法」	①目的に応じた話し合い ②ディベートの方法1 ③ディベートの方法2 ④意思決定・合意形成のための会議	話す 聞く 読む 書く	<ul style="list-style-type: none"> 目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。 話し合いの目的に応じてなされている工夫を理解し、アイデアの出し方や原案の作り方を習得する。 ディベートの流れとときまりについて確認し、論題についての調査から立案までの方法を学ぶ。 実際の流れにそって、ディベートにおけることばの使い方や発言の技術を学び、ディベートを実践する。 家族会議の記録を題材にして、意思決定や合意形成の方法やルールについて理解する。 	A (イ) A (ウ) B (ア) B (ウ) C (ウ)	<ul style="list-style-type: none"> 取組の様子 提出物 評価シート
10	「ディベートマッチ」	①ディベートをとおしての小論文作成	書く 読む	<ul style="list-style-type: none"> ディベートの取り組みをとおして、個人としての考察を小論文としてまとめる 小論文の書き方の手順を再認識させる 小論文を書くことで、思考力や批判力を養う 相互評価をとおして、学び合う 	B (ア) B (イ) B (ウ) C (ア)	<ul style="list-style-type: none"> 取組の様子 小論文
11	「自分史をつくる」	①自分史とは ②自分をつくるための材料提示プリント ③各時期別ワークシート ④社会事項プリント ⑤その他 写真、自作の詩、お気に入りの言葉や歌詞	書く	<ul style="list-style-type: none"> 自分史を書く意義を確認する できごとと心情、現時点における内省など、自分史としての文章の書き方を知る 言葉遣いや原稿用紙の使い方が基本に則っている 書く作業を通して、自らを見つめ直し、これからの生き方を考える態度を養う 自分らしさを演出する装丁のデザインや工夫ができる 	B (ア) B (ウ)	<ul style="list-style-type: none"> 小論文 提出物 自分史
12						
1						
2						

【上の表にある「言語活動」としては、次のようなことを行います。】

- A 話すこと・聞くこと
- (ア) 話題を選んで、スピーチや説明などを行います。
 - (イ) 情報を収集し活用して、報告や発表などを行います。
 - (ウ) 課題について調べたり考えたりしたことを基にして、話し合いや討論などを行います。
- B 書くこと
- (ア) 題材を選んで考えをまとめ、書く順序を工夫して説明や意見などを書きます。
 - (イ) 相手や目的に応じて適切な語句を用い、手紙や通知などを書きます。
 - (ウ) 本を読んでその紹介を書いたり、課題について収集した情報を整理して記録や報告などを書いたりします。
- C 読むこと
- (ア) 文章に表れたものの見方や考え方などを読み取り、それらについて話し合います。
 - (イ) 考えを広げるため、様々な古典や現代の文章を読み比べます。
 - (ウ) 課題に応じて必要な情報を読み取り、まとめて発表します。

3 課題・提出物等

・各単元において、ワークシートや文章等を提出してもらいます。この授業は国語科の中でも実践的なもので、提出物が全体の評価のほとんどを占めます。担当教師の指示をよく聞いて、提出期限を守って下さい。

4 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているか。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり、読書に親しんだりしているか。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、以下の項目より総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の学習の様子（発表や討論の様子、学習活動への参加状況など） 「話す・聞く」や「書く」学習の際の発表や評価表 学習プリントやレポートなどの提出物 その他 				

5 担当者からのメッセージ

3年間の国語学習の総まとめとして、身近な材料から調べ、話し合い、考え、書き、話すという授業をおこないます。もちろん、聞く態度を養うことや、学んだ内容をまとめることにも力を入れます。その中では個人のみだけでなく、ペアを組んだり、班活動をしたりと、コミュニケーション能力を育むことも大切な目標となります。難しいと思われる学習活動も、小さなステップを踏んだワークシートが助けてくれますので、自分の中の表現力を引き出し、高める機会として、仲間の良さを再確認する機会として、楽しく勉強していきましょう。